

KICA セミナー
(一財)京都国際文化協会

日本語を教える人のための応用認知言語学

認知言語学は、ことばの研究の中でも新しく注目されている分野です。

たとえば「テストの点は山科さんの方が上だった」と言うとき、なぜ「上」と言うのでしょうか？ 逆に「失敗して落ち込んだ」と言うときは、なんだか「下」は良くないことを示すようです。これは日本語だけの問題なのでしょうか？

認知言語学は人間が身体を通じた環境とのやり取りによってことばを生み出す、とする立場を取り、言語教育にも応用できることがたくさんあります。今回のセミナーでは言語学になじみがない方、初めて学ぶ方にもこの分野の基礎をわかりやすく解説し、日本語教育へどう応用できるかを具体例をたくさん入れてお話します。

ご参加をお待ちしています。

講師： 荒川 洋平 先生

東京外国語大学大学院 国際日本学研究院 教授

1961 年、東京生まれ。立教大学文学部卒、ニューヨーク大学大学院修了。

デューク大学助手、国際交流基金日本語国際センター専任講師、

東京外国語大学助教授を経て 2014 年から現職。

専門は応用認知言語学、国際言語管理。

主な著書に『日本語教師のための応用認知言語学』（共著・凡人社）、『日本語という外国語』（単著・講談社）、『日本語教員試験攻略テキスト』（単著・アスク出版）などがある。

日 時： 2027 年 1 月 30 日(土)14:00～16:00（受付 13:30～）

会 場： kokoka 京都市国際交流会館 3 階研修室（京都市左京区栗田口鳥居町 2-1）

京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」下車 北へ徒歩 5 分

定 員： 45 人

参加費： 会員無料 一般 1,000 円

主 催： 一般財団法人 京都国際文化協会(KICA)

問合せ/申込み

(一財)京都国際文化協会 (URL: <https://kicainc.jp/>)

Tel: 075-751-8958 Mail: kica@kicainc.jp

